

ネット株式、勝ち組の特徴は？

マクロミル自主調査

「オンライン株式の 利用実態について」

【調査結果】

2005年1月12日

【 調査概要 】

調査地域：全国

調査対象：男女20才～69才

サンプル抽出法：各年代（20代/30代/40代/50代）各々
をほぼ均等に割付

有効回答数：5000サンプル

男性20代：500ss 女性20代：500ss

男性30代：500ss 女性30代：500ss

男性40代：500ss 女性40代：500ss

男性50代：500ss 女性50代：500ss

男性60代：500ss 女性60代：500ss

調査方法：インターネットリサーチ

調査時期：2004年12月21日～12月27日

実施機関：株式会社マクロミル

株式会社マクロミル

—調査に関するお問い合わせ先—

株式会社マクロミル 担当：山口

TEL 03-6716-0707 FAX 03-6716-0721

e-mail:press@macromill.com

【調査結果のまとめ】

- ネット証券のメインユーザーは実は「60代男性」。
今後は20・30代にもヒットする予感！
- 保有株式が値上がりした人は「投資先企業のIRレポートをよく読む」

① ネット証券のメインユーザーは実は「60代男性」。今後は20・30代にもヒットする予感

現在株式を保有し、ネット証券を利用している人は全体の18.4%でした。利用層のプロフィールを見ると、最も多いのは60代男性で30%がユーザーに達していました。インターネットを利用している人は50代までが大半ですが、時間と資金の余裕があるシニア世代にとって、オンラインでの株式取引は便利な環境であることが伺えます。

また、現在株式を保有していない人に対して株式投資への興味度を尋ねたところ、4割が「興味がある」と回答しました。興味がある層は、年代が若いほど高く、特に20代、30代から支持されていました。今までのオンライン株式投資はシニア世代が中心でしたが、今後は少しお金に余裕が出てきた団塊ジュニア世代にもヒットする予感がさせられます。

② 保有株式が値上がりした人は「投資先企業のIRレポートをよく読む」「購入前に企業・業界研究を行っている」「売る基準やタイミングを決めている」

株式取引の利用状況について保有株式が値上がりした人と、値下がりした人の回答を比較しました。値上がりした人ほど「投資先企業のIRレポートを読む」「購入前に企業・業界研究を行う」など自ら情報を収集したり、「売る基準やタイミングを決めている」と自分のルールで取引しています。

	値上がりした人		値下がりした人
1) 「投資先企業の [*] IRレポートを読む」	75%	>	58%
2) 「購入前に企業・業界研究を行っている」	91%	>	83%
3) 「売る基準やタイミングを決めている」	72%	>	66%
4) 「株価チャートを1日1回以上見る」	70%	>	63%
5) 「保有銘柄が10以上ある」	29%	>	23%
6) 「株式投資歴が5年未満」	59%	>	53%

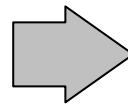
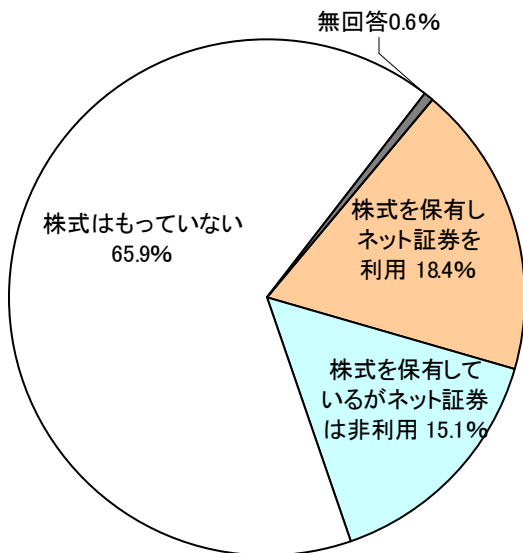
*アニュアルレポート(年次報告書)や事業報告書、ニュースリリースなどを意味します

【調査結果の詳細】

ネット証券のメインユーザーは実は「60代男性」!

現在株式を保有し、ネット証券を理由している人は全体の18.4%でした。利用層のプロフィールを見ると、最も多いのは60代男性で30%がユーザーに達していました。インターネットを利用している人は50代までが大半ですが、時間と資金の余裕があるシニア世代にとって、オンラインでの株式取引は便利な環境であることが伺えます。

オンライン株式の利用動向



ネット証券	
N=5000	
全体	18.4 %
男性	22.8
女性	13.9
男性20代	19.0
男性30代	21.8
男性40代	20.4
男性50代	23.2
男性60代	29.8
女性20代	6.4
女性30代	11.6
女性40代	13.0
女性50代	19.6
女性60代	18.8

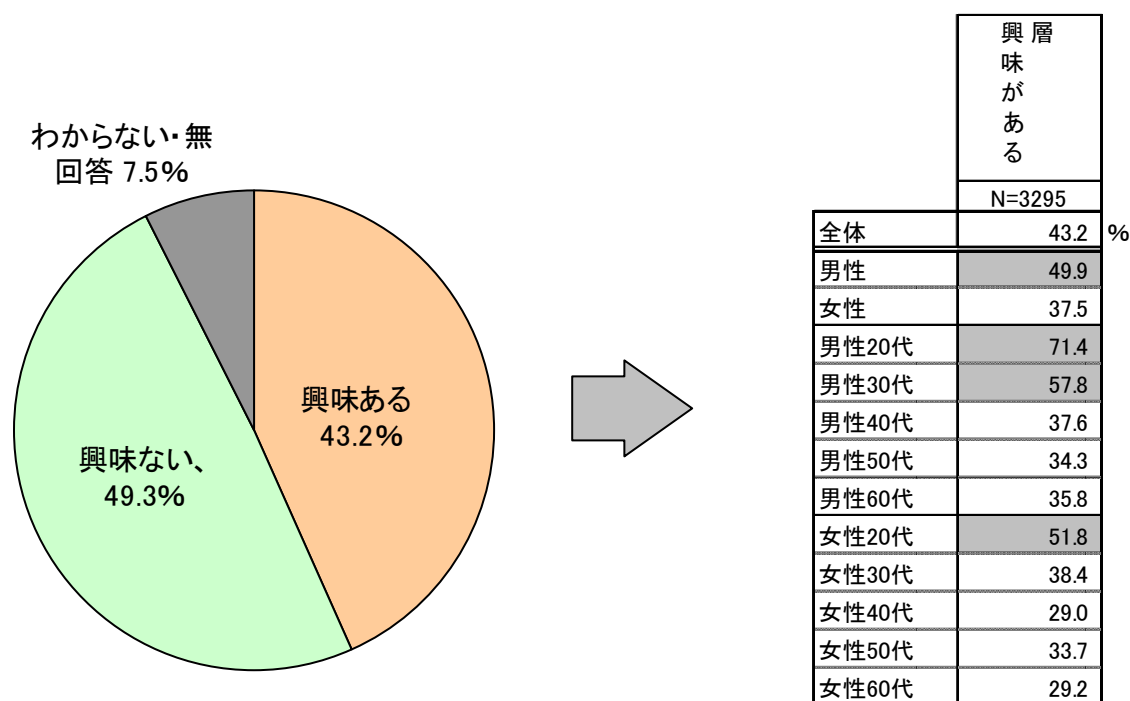
「株式投資に興味がある」が4割。今後は20・30代にもヒットする予感

現在株式を保有していない人に対して株式投資への興味度を尋ねたところ、4割が「興味がある」と回答されました。興味がある層は、年代が若いほど高く、特に20代・30代から支持されていました。今までのオンライン株式投資はシニア世代が中心でありましたが、今後は少しお金に余裕が出てきた団塊ジュニア世代にもヒットする予感がさせられます。

興味ある理由は「インターネットなどで手軽に取引できそうなので」が最も高い

興味がある人にその理由を質問したところ、「インターネットなどで手軽に取引できそうなので」が最も高く、約7割から回答されました。その他の理由をみると、あくまでも小遣い稼ぎや、超低金利の銀行預金時代にもっと有効に資産を活用したい理由が多く挙げられました。

株式投資への興味有無 (現在株式を保有していない人、回答 3295 人、単数回答)



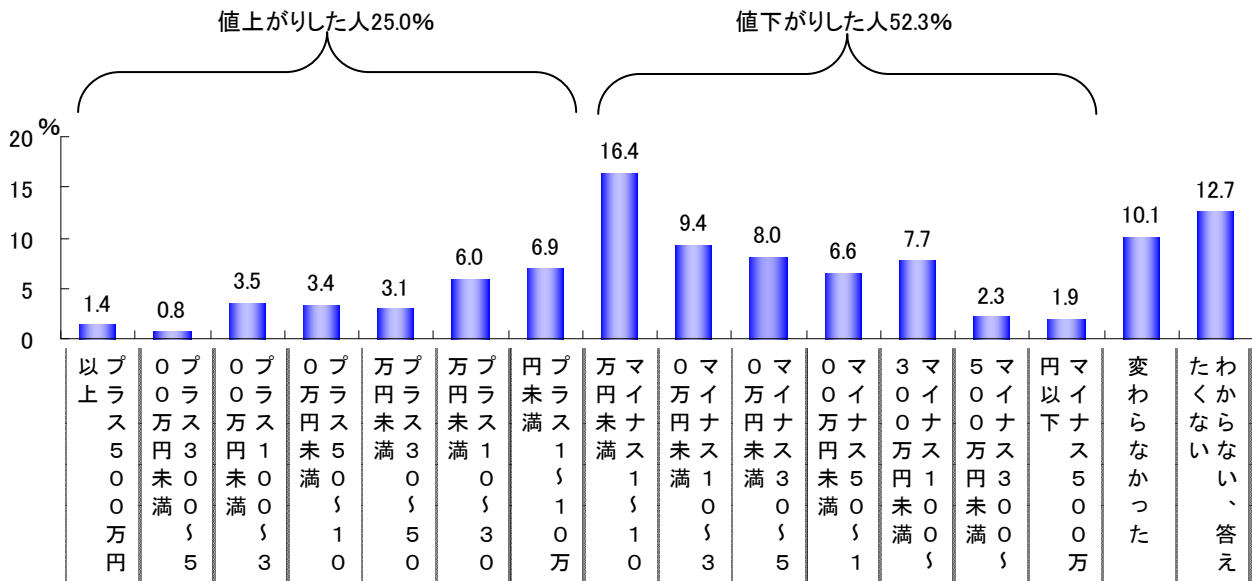
株式投資に興味がある理由 (N=3295、複数回答、%)

1	インターネットなどで手軽に取引できそうなので	68.4	6	配当に興味があるので	25.2
2	小遣いが稼げると思ったので	48.3	7	株式投資を通じて経済や企業の動向を学べると思ったので	18.5
3	銀行預金の金利が低いので資産を有効に活用してみたい	47.4	8	老後に備えて	16.7
4	小額の資金でも取引できそうなので	36.3	9	一攫千金を得たいので	11.7
5	株主優待制度を利用したいので	35.3	10	今の収入だけではやりくりできないので	5.9

保有株式が値上がりした人は「4人に1人」

ネット証券利用者に、「2004年は、保有している株式がどの程度値上がり・値下がりしましたか、含み損益に対しておおよその増減をお知らせください」と質問したところ、株価が値上がりしたと回答した人は4人に1人の25%でした。また、「変わらなかった」と回答した人は10.1%で、「値下がりした人」は半数を超す52.3%に達していました。

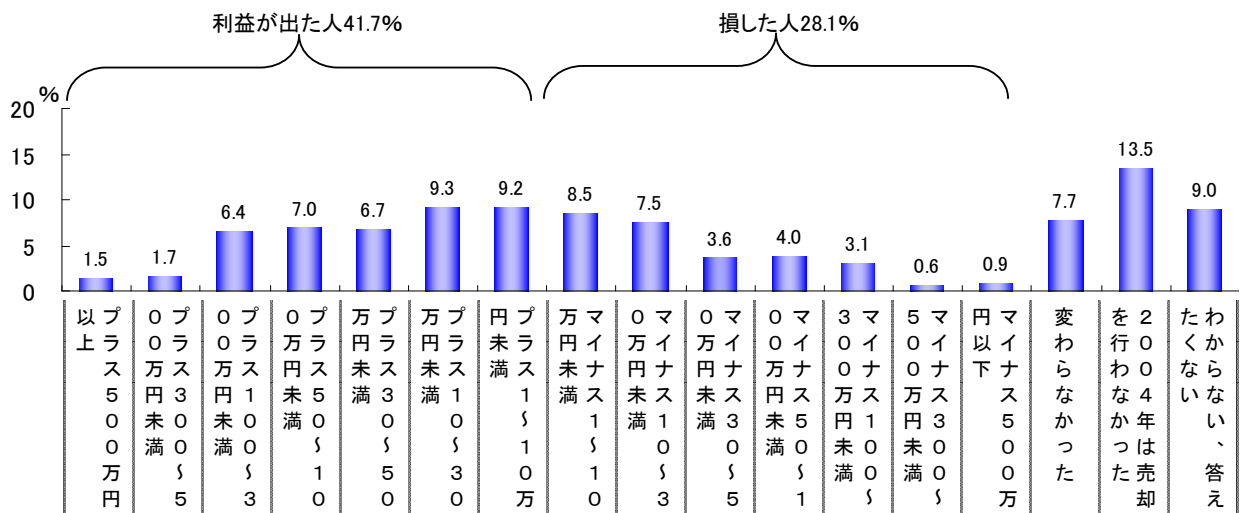
保有している株式はどの程度値上がり・値下がりしましたか。含み損益に対して、おおよその増減をお知らせください。
* 購入金額－時価評価額＝損益とお考えください。



実際の売却によって利益が出た人は4割

ネット証券利用者に、「今年度の取引で、実際に株式の売却によってどの程度損益が生じましたか」と質問したところ、利益が出たと回答した人は41.7%でした。

今年度の取引で、実際に株式の売却によってどの程度損益が生じましたか。
* 売却したい銘柄の投資金額(簿価)－売却した額＝損益とお考えください。



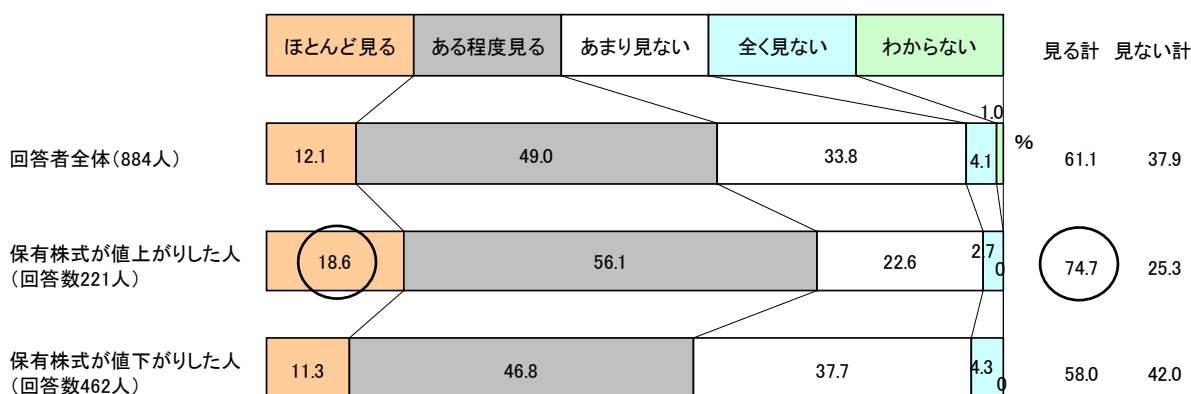
株価が上がった人の傾向

	値上がりした人		値下がりした人
1) 「IR ツールをよく読む」	75%	>	58%
2) 「売る基準やタイミングを決めている」	72%	>	66%

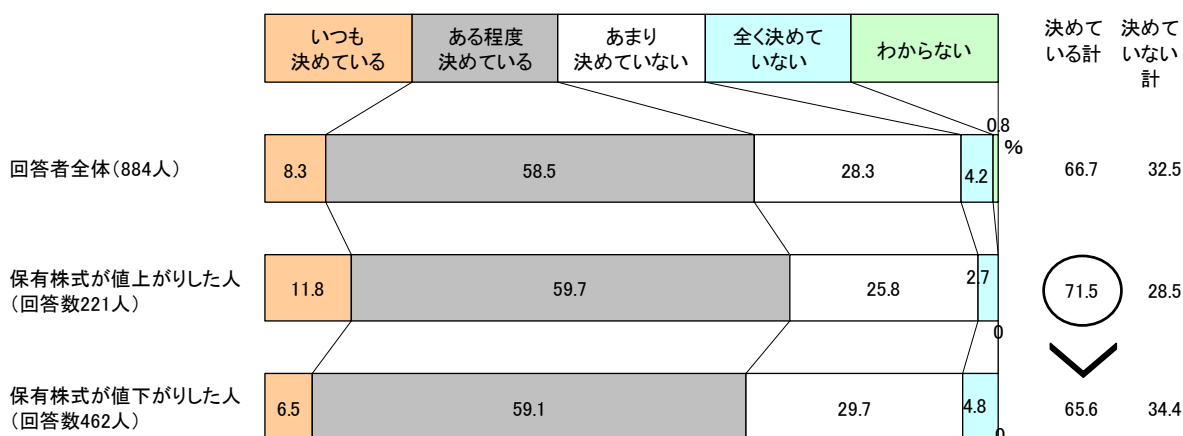
1) 保有銘柄の IR ツールを「見る」(ほとんど見る+ある程度みる)と回答した人について、株価が値下がりした人が58%に対して、株価が値上がりした人は74.7%と上回る結果が出ました。株式を購入した後は株価を追うだけでなく、企業から発表される様々な IR ツールに目を通す人ほど勝つ傾向がみられます。

2) 売る基準やタイミングを「決めている」(いつも決めている+ある程度決めている)と回答した人について、株価が値下がりした人が65.6%に対して、株価が値上がりした人は71.5%と上回る結果が出ました。特に損割りのタイミングなど、自分のルールに乗っ取って取引している人の方がリスクも回避しやすく、結果的に勝つ傾向が見られます。

■ 保有銘柄のアンニュアルレポート(年次報告書)や事業報告書、ニュースリリースなどの IR ツールをみる頻度



■ 株式を購入する際に、売る基準やタイミングを決めていますか。



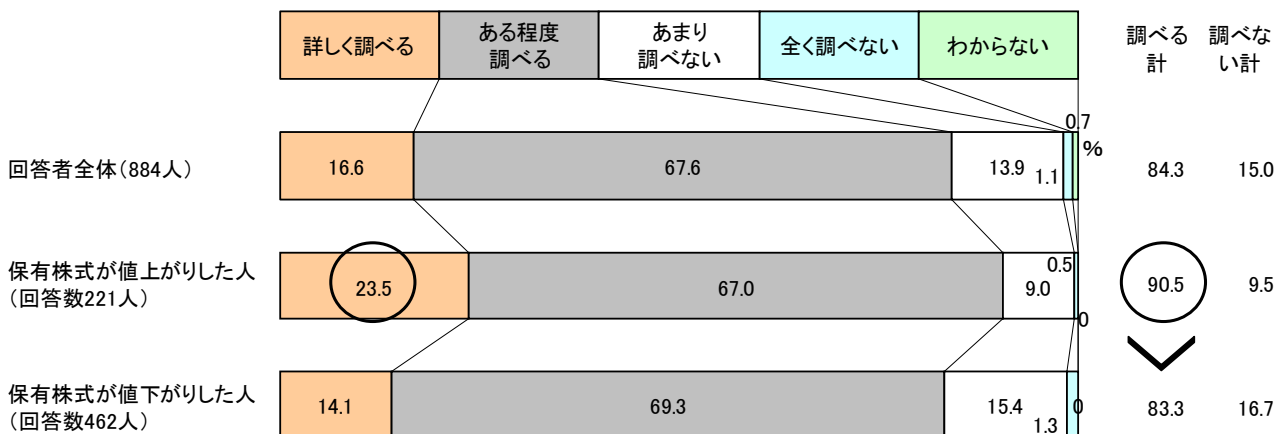
株価が上がった人の傾向

	値上がりした人		値下がりした人
3)「購入前に企業・業界研究をよく行っている」	91%	>	83%
4)「株価チャートを1日1回以上見る」	70%	>	63%

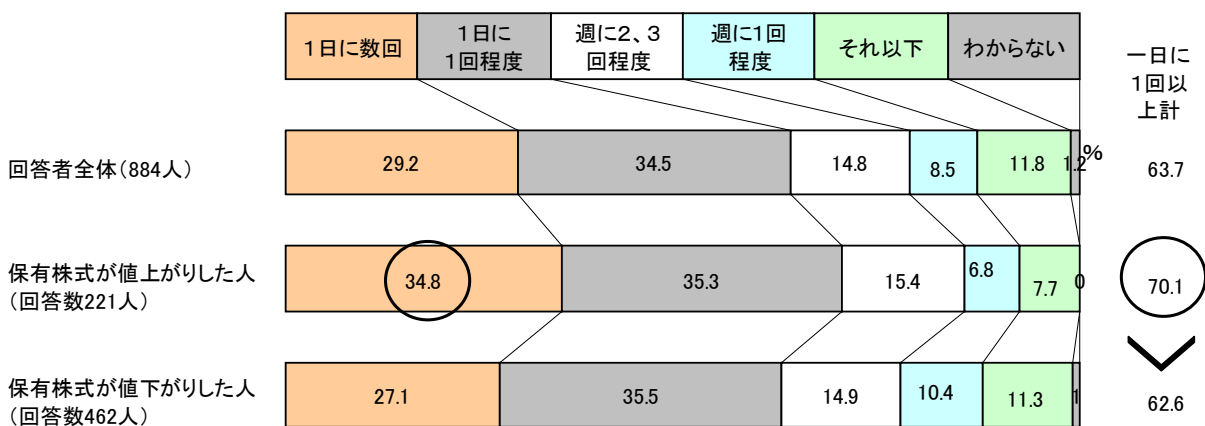
3) 株式を購入する際に企業や業界研究を「調べる」(詳しく調べる+ある程度調べる)と回答した人は、株価が値下がりした人が83%に対して、株価が値上がりした人は90.5と上回る結果が出ました。株価が上がる人はニュースで話題になった銘柄や、人から薦められた銘柄を鵜呑みにせず、自分で研究してから購入するサイクルを持ち合わせているようです。

4) 保有銘柄の株価チャートをみる頻度について「1日に1回以上見る」と回答した人は、株価が値下がりした人が62.6%に対して、株価が値上がりした人は70.1と上回る結果が出た。保有銘柄への関心が高いほど勝つチャンスが高い傾向が見られます。

■株式を購入する際に、対象銘柄の会社概要や業界についてどの程度調べますか



■保有銘柄の株価チャートをみる頻度



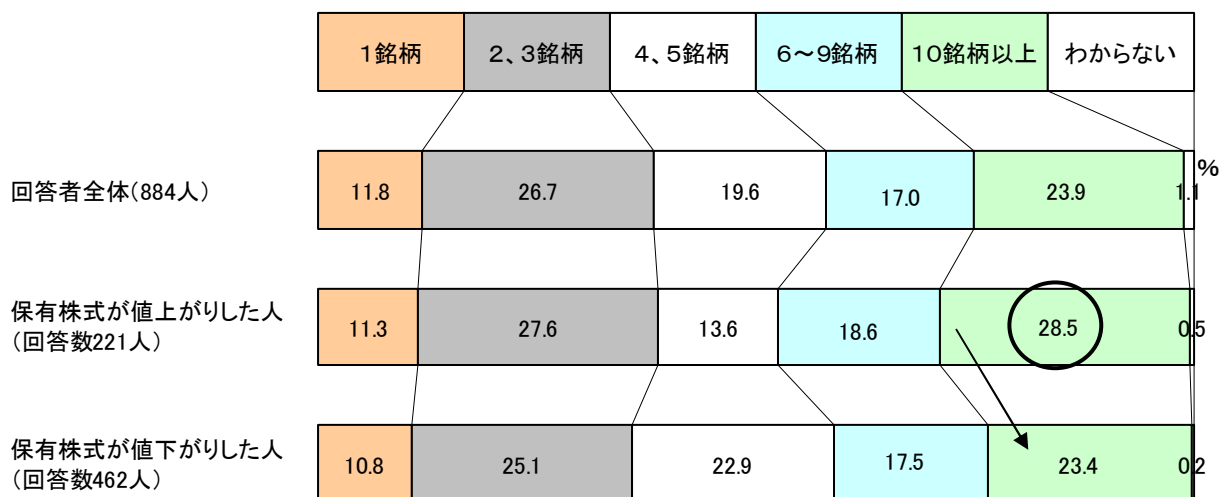
株価が上がった人の傾向

	値上がりした人		値下がりした人
5) 「保有銘柄が10以上ある」	29%	>	23%
6) 「株式投資歴が5年未満」	59%	>	53%

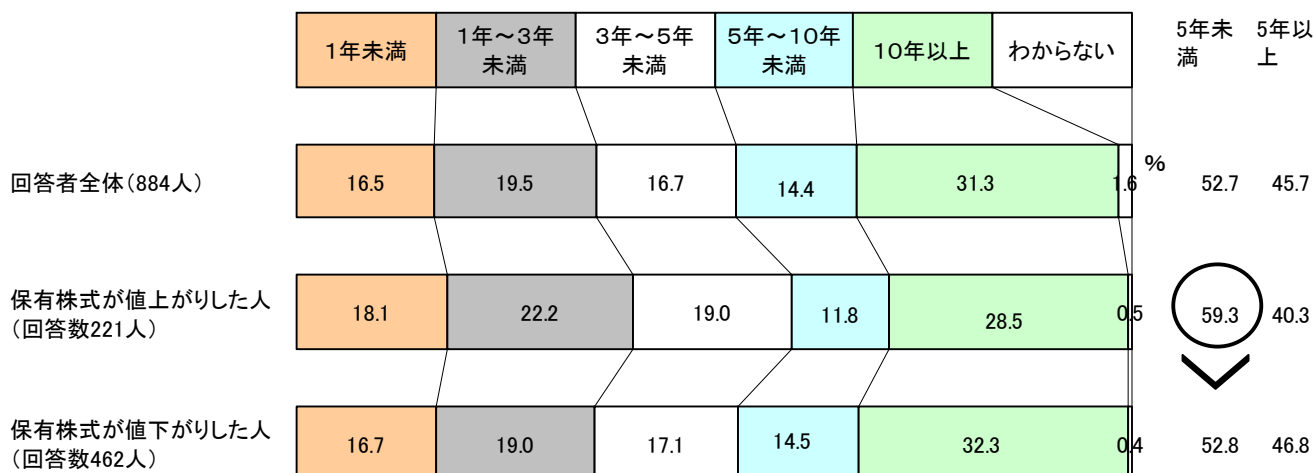
5) 保有銘柄数について「10銘柄以上ある」と回答した人は株価が値下がりした人が23.4%に対して、株価が値上がりした人は28.5%と上回る結果が出ました。リスク分散している人ほど保有株式が値上がりを保っていることが伺えます。

6) 株式投資歴について「5年未満」と回答した人は株価が値下がりした人が52.8%に対して、株価が値上がりした人は59.3%と上回る結果が出ました。投資歴と儲けは必ずしも一致しないようです。

■保有銘柄数



■株式投資歴



株価が上がった人の傾向

日経平均などの経済指標をみる頻度は関係なし

日経平均や為替動向などの経済指標を見る頻度について、「1日に1回以上見る」と回答した人は株価が値下がりがりした人が83.3%に対して、株価が値上がりした人は84.2%と差が見られない結果となりました。

■ 日経平均や為替動向などの経済指標を見る頻度

